

—用語の説明—

・洪水浸水想定区域図

水防法第14条第1項の規定に基づき、洪水予報河川および水位周知河川（以下、「法指定河川」と言います。）において、想定最大規模降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を現した図のことです。

・水害リスク図

法指定河川以外の県管理河川において、想定最大規模降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を現した図のことです。

・洪水予報河川

水防法第11条第1項に基づき県が指定した、流域面積が大きく洪水により相当な損害が生ずるおそれがある河川です。

・水位周知河川

水防法第13条第1項に基づき第11条第1項以外で県が指定した、洪水により相当な損害が生ずるおそれがある河川です。

・想定最大規模降雨

概ね1,000年に1度以上の確率で発生する降雨のことです。

・計画規模降雨

その川を将来的に氾濫させないように整備する目標としている大雨のことです。

河川の流域の大きさや、氾濫が想定される範囲の資産状況などを考慮して定めたもので、河川毎に個別に定めています。

・浸水区域、浸水深

想定最大規模または計画規模の降雨により、浸水が想定される区域および水深のことです。

- ・ **浸水継続時間**

想定最大規模の降雨により浸水した場合に、浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間のことです。

- ・ **家屋倒壊等氾濫想定区域図**

想定最大規模の降雨時の洪水に伴う氾濫流や河岸侵食により、家屋の倒壊・流出の危険性がある区域を示したものです。

氾濫流とは、堤防が壊れ河川外に流れ出ること、流れの勢いで一般的な2階建ての木造住宅が倒壊・滑動・転倒する危険性がある範囲を示しています。

河岸侵食とは、川の流れる勢いにより（護岸や堤防はもちろん）地面が削り取られることで、家屋がどのような造りであるかは関係なく壊れる危険性がある範囲を示しています。